

【演習：講義】 9月21日（土） 10：00～17：00 鳥取県立福祉人材研修センター

（敬称略）

時間		プログラム	ねらい	学習内容	講師
50分	講義	鳥取県における災害・新興感染症に係る派遣時の看護支援活動	災害時および新興感染症の発生・まん延時の看護職の活動の実際を想定することができる	・鳥取県の災害・新興感染症に係る派遣・医療提供体制の状況や対策（派遣の仕組み、登録含む） ・鳥取県協会における災害・新興感染症に係る派遣時の看護支援活動	鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課 参事 谷口 和子
10分	講義	災害支援ナースとしての心構え（支援側・受援側の立場の理解）	派遣の際し、受援者や支援者が相互協力するために必要な知識を学ぶ	・派遣の際に受援者・支援者の間に生じやすい役割期待のずれなどを事例を通して理解し、派遣の際の心構えを学ぶ	

※2 日間の集合研修（演習）のうち、初日の集合研修（演習）で実施

【演習（災害） 災害時の看護職の活動の実際

（敬称略）

時間		プログラム	ねらい	学習内容	講師	
10分		オリエンテーション				
45分	講義 ワーク	1) 派遣決定から出発までの準備 (ワーク) ・派遣決定までの調整と準備 ・派遣決定から出発までの準備 ・携行品 ・活動の原則	・災害時の看護職の活動の実際を想定することができる ・災害時に看護職として活動する際の基本的な心構えがわかる ・災害時の看護職の活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる	自己紹介（アイスブレイキング） （状況付与1 災害発生） Q1 派遣決定までの調整と準備 ・出発前の静寂収集と静寂入手の手段 Q2 派遣決定から出発までの準備 ・出発前の調整 ・出発前の確認事項 Q3 携行品 ・携行する物品の考え方 （状況付与2 派遣決定）	鳥取市立病院 副看護師長 中瀬 善雄 鳥取市立病院 救急看護認定看護師 桑村 香織	
15分		2) 支援者としての心構え		講義 支援者としての心構え ・被災者の尊厳 ・基本的な心構え ・被災者の心理的反応の時間経過 ・支援する側の心理		
45分		3) 活動場所の違いによる活動の特徴（医療機関、避難所）		講義 活動場所の違いによる活動の特徴 a. 医療機関での活動の特徴 ・医療機関での支援におけるCSCA ・主な看護活動 ・現地スタッフへの配慮		

				b. 避難所での活動の特徴 <ul style="list-style-type: none"> ・避難所とは ・避難所の運営体制 ・福祉避難所とは ・避難所で提供する生活支援の主な内容 ・避難所での活動の特徴 	
60分	休憩				
40分	講義 ワーク	4) 災害医療対応の原則 (ワーク) ・安全管理		講義 災害医療対応の原則 (状況付与3 活動場所へ到着) Q 4 活動の原則 <ul style="list-style-type: none"> ・指揮命令系統を確認する ・活動内容の確認と調整を行う Q5 安全管理 <ul style="list-style-type: none"> ・二次災害の回避 ・自身の安全を守る Q6 他職種、他機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・災害対応に関わる保健医療福祉関係職種 ・災害対応に関わる主な機関(団体) 	
120分		5) 方針に沿った活動 (ワーク) ・救急搬送や発熱者等の対応 ・新たな活動を依頼されたら ・記録と報告 ・活動終了に向けて ・帰還後に行うこと		・災害時の看護職の活動の実際を想定することができる ・災害時に看護職として活動する際の基本的な心構えがわかる ・災害時の看護職の活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる	講義 方針に沿った活動 Q7 自分たちの活動方針を立てる <ul style="list-style-type: none"> ・現状把握と支援ニーズの再確認 ・アセスメントに含めること ・自立への支援とは (状況付与4 避難所での活動) Q8 救急搬送や発熱者等の対応 <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な看護活動と種別 ・ヘルスクラスターミーティング Q9 新たな活動を依頼されたら (状況付与5 活動報告書の作成) Q10 記録と報告 <ul style="list-style-type: none"> ・報告 ・活動の記録とその目的 ・記録をする際の注意点 Q11 活動終了に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・支援ニーズの再評価の視点 ・情報と物品の整理 アナウンス Q12 帰還後に行うこと <ul style="list-style-type: none"> ・看護職自身の回復のために ・派遣に協力してくれた人への感謝 ・活動の報告、活動内容の伝達
5分		6) まとめ			

【演習（感染症）】感染症拡大時の看護職の活動の実際 10月27日（日）10:00~16:10

鳥取大学医学部附属病院シミュレーションセンター

(敬称略)

時間		プログラム	ねらい	学習内容	講師	
		オリエンテーション				
60分				①ゾーニングを体験し、ゾーニングの考え方の基本や留意点を学ぶ ・ゾーニングを実施する ・ゾーニングの考え方や留意点を学ぶ ・派遣先でゾーニングの実施を求められけ場合の対応と留意点	(講師) 鳥取大学医学部附属病院 感染管理認定看護師 中村 広大 (ファシリテーター4名) 鳥取大学医学部附属病院	
60分	実技	1) 感染拡大・重症化の予防	感染拡大や重症化予防に向け医療機関やそれ以外の施設の特徴を踏まえた標準予防策およびゾーニングの基礎を学ぶ	②个人防护具の着脱を体験し、標準予防策の基礎を学ぶ ・个人防护具の着衣が正しく行える (脱衣は2)の①終了後 ・医療機関以外の場所が想定できる 【学習ポイント】 ・着衣(実施)指導演を担任する ・療養施設、高齢者施設、退院所、自宅などでの留意点 ・狭い空間しかない場合の留意点 ・自宅等一人で派遣されけ場合の留意点	クリティカルケア認定看護師 吉野 早苗 鳥取大学医学部附属病院 小林 祐介 鳥取県済生会境港総合病院 感染管理認定看護師 鱒岡 亜希子 山陰労災病院 感染制御実践看護師 鹿原 佳子	
60分		2) 安楽な呼吸を保つための看護	个人防护具を装着したまま安楽な呼吸へのケアを体験的に学ぶ	・个人防护具を装着したまま安楽な呼吸へのケアを継続する ・个人防护具の脱衣が正しく行える 【学習のポイント】 ・軽症患者への対応 (酸素療法や吸引が必要な患者への留意点/清潔ケア時の留意点) ・重症患者への対応 (呼吸理学療法・体位ドレナージ/ポジショニング) ・感染対策を守れない患者への対応	(講師) 鳥取大学医学部附属病院 クリティカルケア認定看護師 吉野 早苗 (ファシリテーター4名) 中村 広大、小林 祐介 鱒岡 亜希子、鹿原 佳子	

40分		3) 多職種連携による医療提供	派遣時の心構えや派遣先での適切な行動を学ぶ	<p>派遣時の心構えや派遣先での適切な行動を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 派遣時の活動の原則、派遣先での指命命令系統の確認 医療機関以外での他職種連携（介護福祉士、医療職やそれ以外など）の留意点を学ぶ <p>【学習のポイント】 事例を用いたワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> 派遣時の準備・心構え 派遣先における指命命令系統の確認 報告・連絡・相談の重要性の理解及びそのルートやその方法 コミュニケーションの重要性 	<p>(講師)</p> <p>鳥取大学医学部附属病院 クリティカルケア認定看護師 吉野早苗</p> <p>(ファシリテーター1名) 中村 広大</p>
40分	ワーク	4) 患者・家族へのケア（看取り・死亡時のケア含む）	派遣の事例を通して、隔離による不安、意思決定支援、看取りケア、死亡時の対応を学ぶ	<p>事例を通して、隔離による不安、意思決定支援、看取りケア、死亡時の対応を学ぶ。未知の感染症に罹患したご遺体への対応を学ぶ。</p> <p>【学習のポイント】 事例を用いたワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者・家族への看職としての対応や留意点 未知の感染症に罹患したご遺体への対応 	
10分		まとめ			